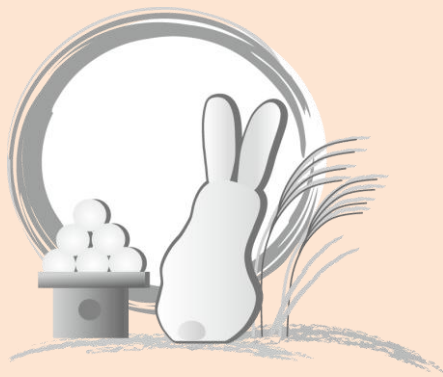


少年の細き口笛秋高し  
 西町 金澤 頼子  
 野葡萄や子を呼ぶ母の声若し  
 元町 印牧 安子  
 凧や生きる隙間を通り抜く  
 緑町 齋藤 嘉子  
 車窓より紅葉楽しむ宗谷線  
 仲町 坂部 和子  
 バス待の椅子に紅葉が二三枚  
 元町 西崎 弘子  
 ふるさととは跡形もなく赤とんぼ  
 屯田町 古屋 克江  
 月あかり心の澱を解き放ち  
 仲町 梅基 文子  
 未枯しやさびた手鋏の現れる  
 旭町 大河 博子  
 老ふたり縁石に在る秋日和  
 旭町 大河内清枝  
 虫の音のせわしく吾れをせきたてる  
 西町 岸波 君江  
 雑踏に見え隠れする秋の蝶  
 藤本町 高井 孝子  
 月まろし問いたき事のふたつ三つ  
 東町 高草木喜代子  
 秋澄むや水飲む犬の舌の音  
 西岡町 高瀬久美子  
 母の忌にそつと供えるきのこ飯  
 東町 高橋世津子  
 初霜や父の法要声忍ぶ  
 西町 文梨 清子  
 秋風を抱きしめ歩む老女かな  
 南桜町 宮腰 幸子



黄金の稲穂をゆらす今朝の風  
 西岡町 児玉 洋子  
 さりげなき風にも応ふ秋稔  
 元町 竹内スミエ  
 ちぎれ雲空いつぱいの秋の色  
 西岡町 渋谷みさ子  
 ふたり居の語るでもなし長き夜  
 旭町 宝澤 房子  
 ひとり居の秋刀魚一匹焼いてをり  
 西原町 児玉久美子  
 琴の音のリズムに乗りて秋時雨  
 仲町 徳井 隆男  
 勵ましの看とりの肩に赤トンボ  
 旭町 大河 茂  
 真綿ほどの山霧這はせ十勝岳  
 藤本町 池田 良子  
 暖炉燃えゆうや人通る針のみぞ  
 仲町 芳賀 星子

### information 絵本の館から



『ちびはち』  
 エドワード・ギプス作  
 谷川俊太郎訳  
 光村教育図書

はじめに登場したのは小さなハチ。ハチは空腹のカエルから逃げ、そしてカエルは、へびに食べられないように跳びまわす。では、へびは何から逃げる？言葉のリズムで生き物の追いかけっこが楽しくなります。



### 今月のおすすめ絵本

#### 新着図書

- ・パワー・ライティング入門 (師岡章 著)
- ・TPP でくらしはどうなる？ (鈴木宣弘 著)
- ・人生に座右の銘はいらない (松尾スズキ 著)



『いじめっ子』  
 ローラ・ヴァッカロ・シーガー作  
 なかがわひろ訳  
 ああなる書房

大きな牛に嫌なことを言われた小さな牛は、憂さ晴らしのように友達へ悪い言葉を浴びせ傷つけていきます。些細なことではじまり、加害者本人の自覚がなくても、「いじめ」は進行していくのです。

ほか